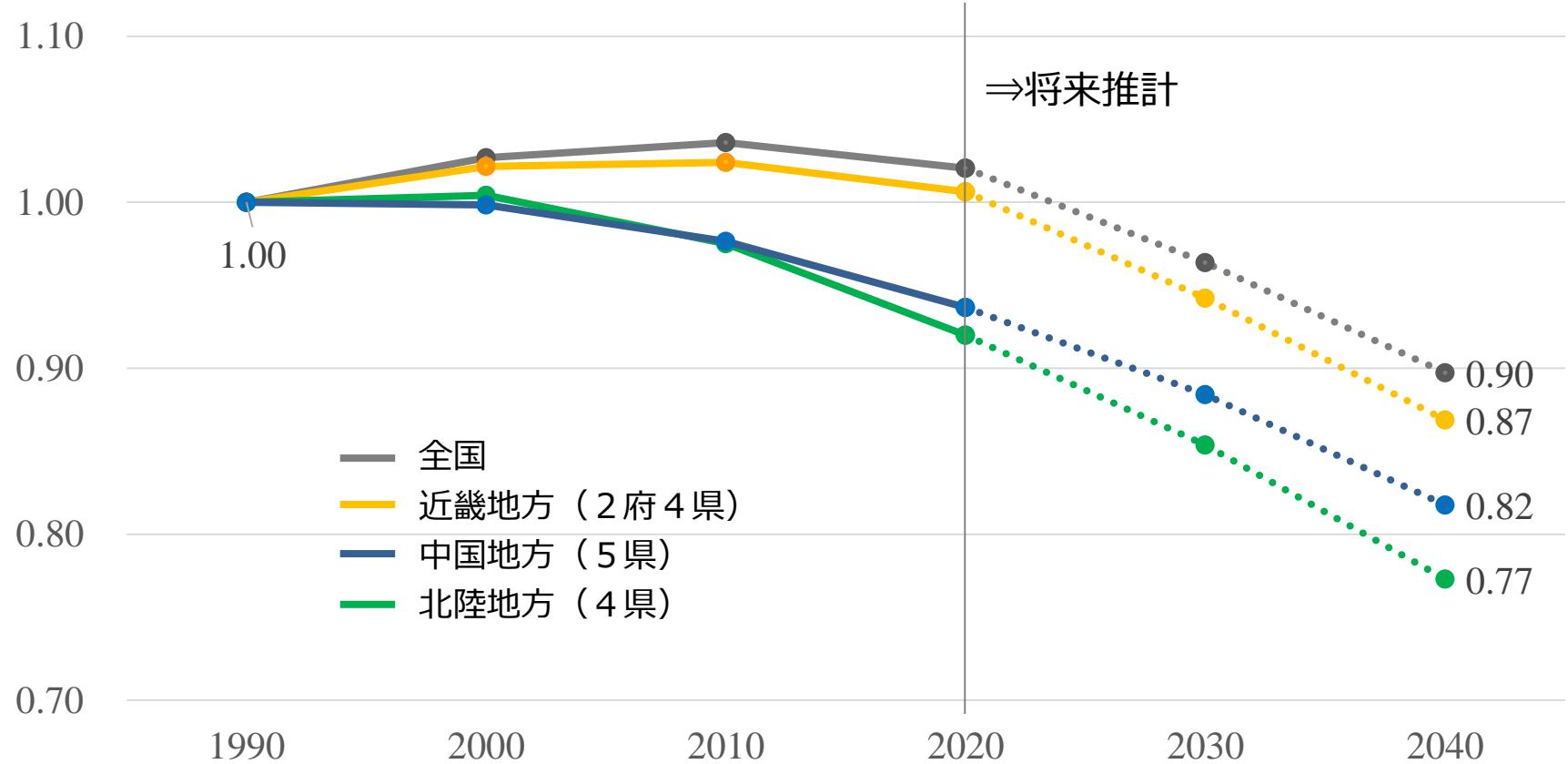


參考資料

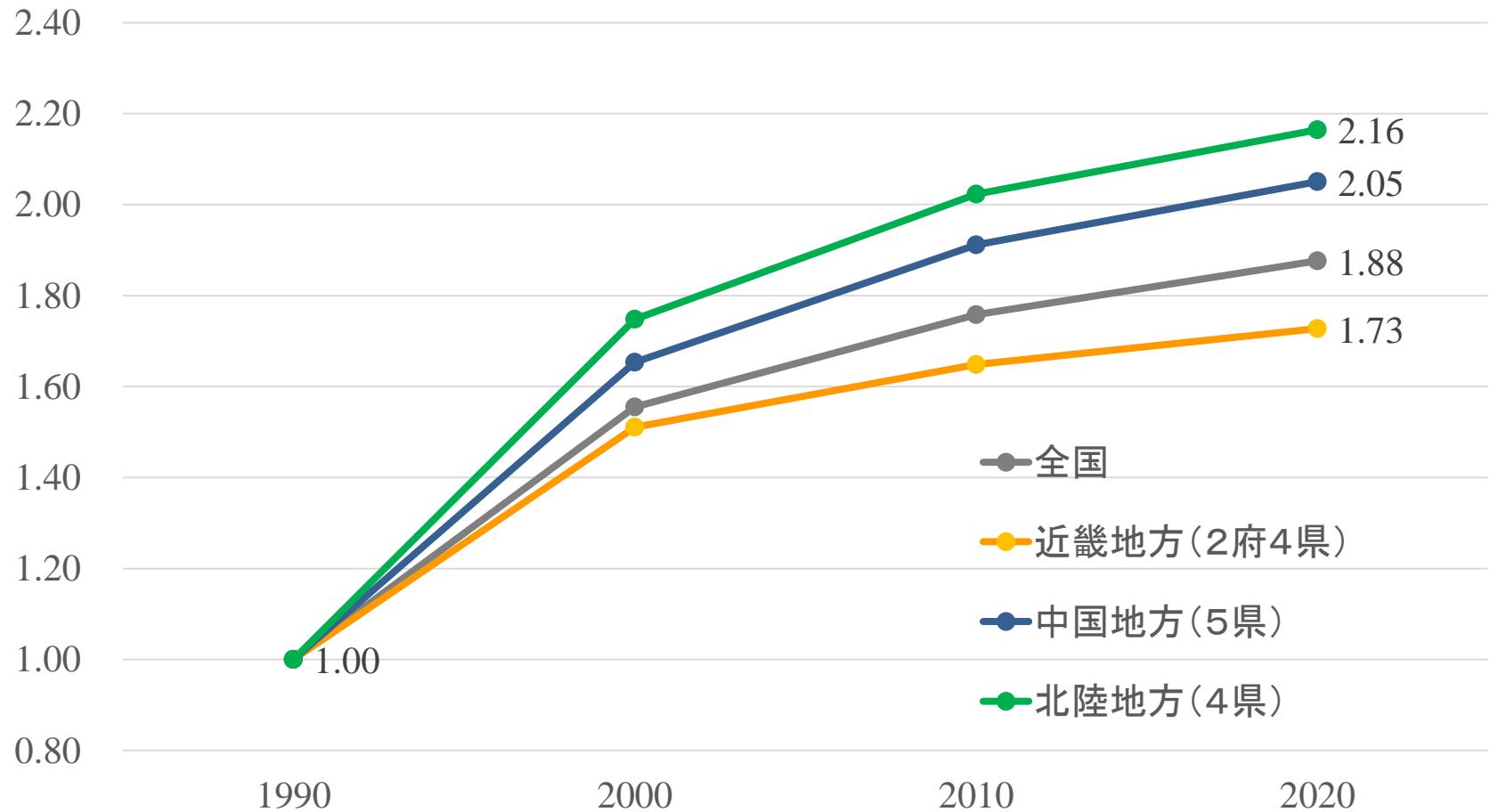
人口推移と将来推計(1990年を1.00とした場合の比率)



※人口推移は国勢調査による

※将来推計は『日本の地域別将来推計人口(2018年推計)』国立社会保障・人口問題研究所による

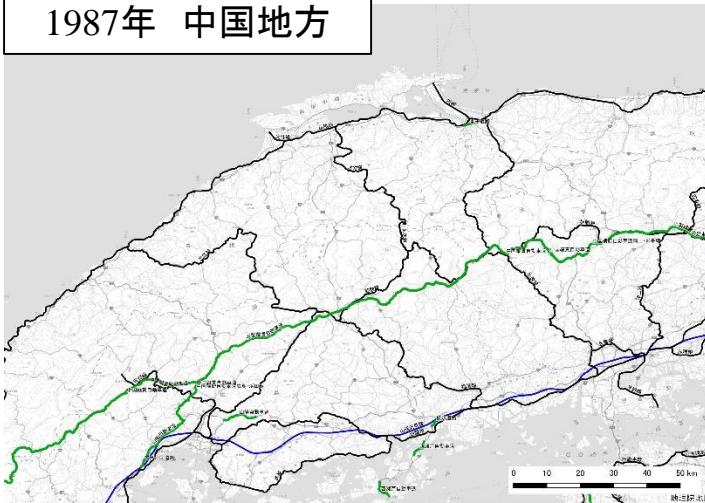
自動車（乗用車）保有台数（1990年を1.00とした場合の比率）



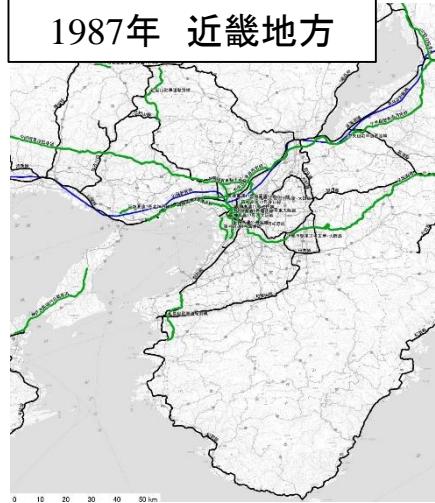
高規格幹線道路供用延長(全国)

1987年 4,387km ⇒ 2019年 11,882km(約2.7倍) ※国土交通省HPより引用

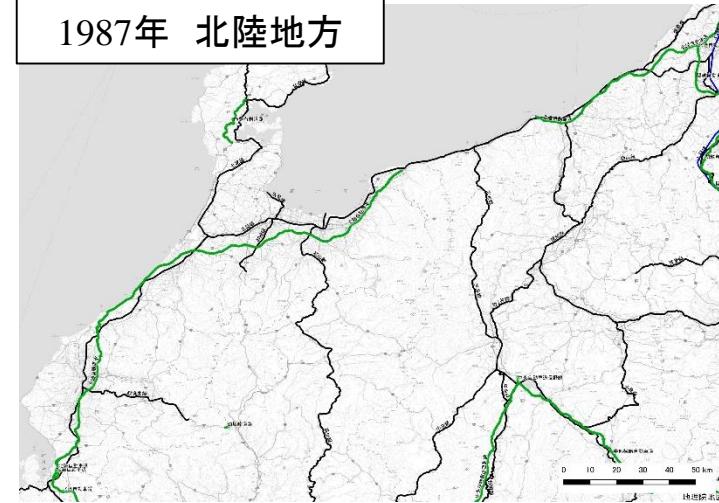
1987年 中国地方



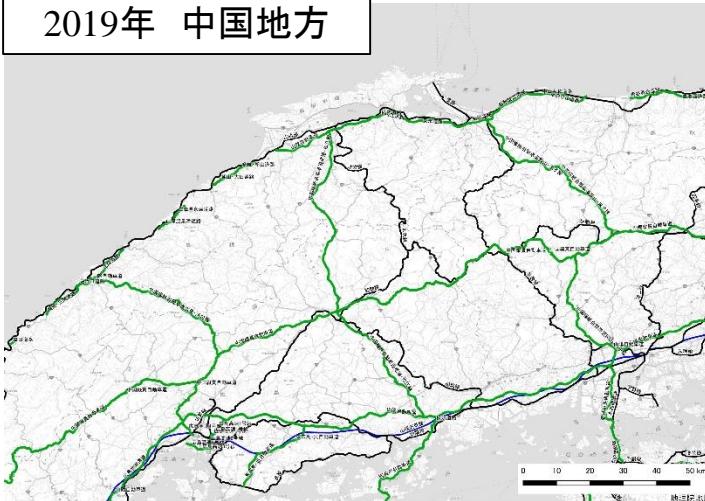
1987年 近畿地方



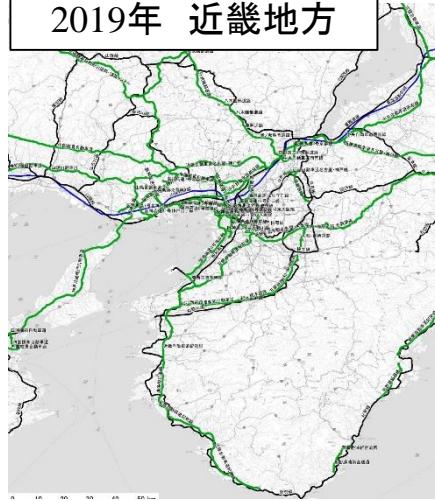
1987年 北陸地方



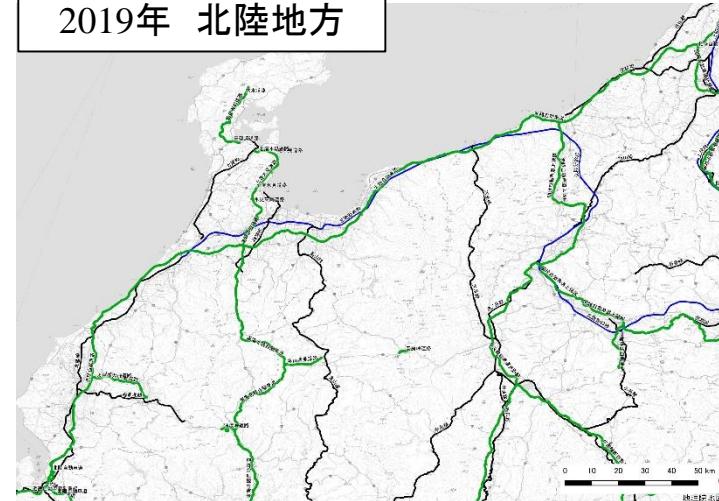
2019年 中国地方



2019年 近畿地方



2019年 北陸地方



※地図データは、国土数値情報を基に当社作成

一般に鉄道は次のような特長から、エネルギー効率が高く、環境にやさしい乗り物といわれます

一度に多くのお客様にご利用いただける



走行時のエネルギー効率が低い



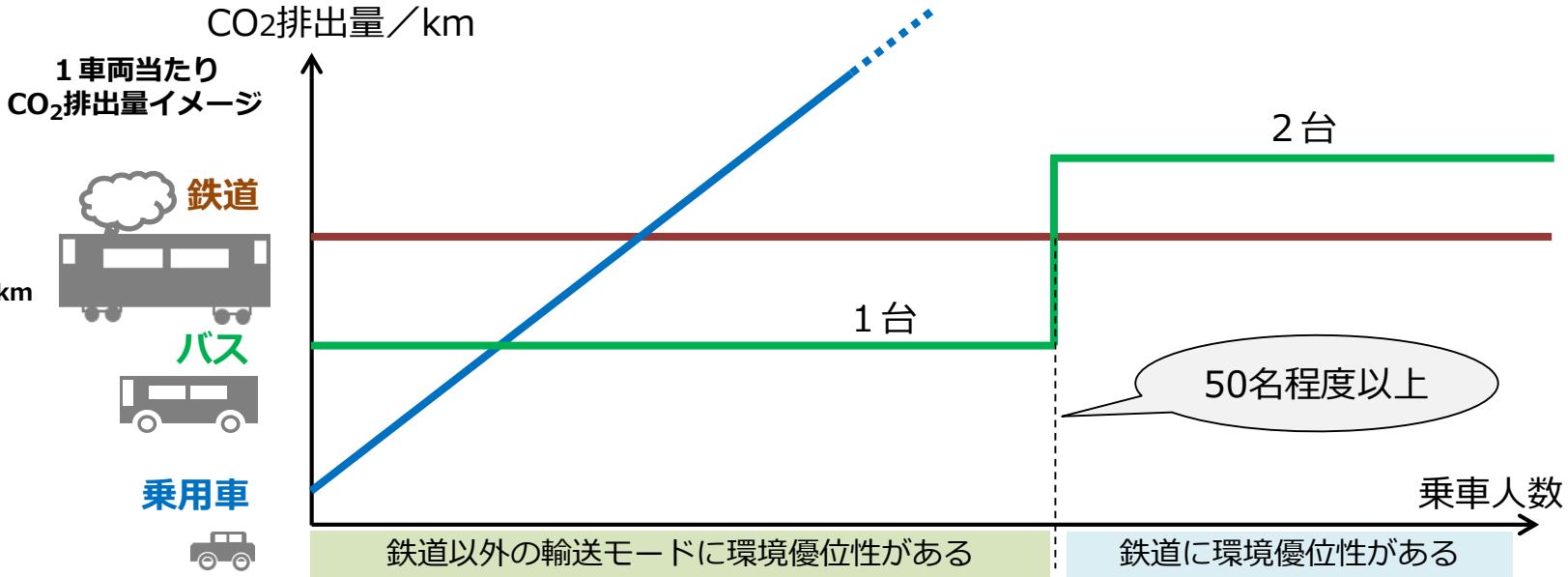
環境にやさしい鉄道
鉄道全体として
輸送人員1人あたりCO₂排出量
乗用車の約1/8※

※国土交通省HP資料

鉄道はお客様のご利用の多い線区、特に都市圏・都市間での大量輸送において大きな環境優位性を発揮します。

お運びするお客様が非常に少ない線区では、他のモードが環境の観点で優れています

イメージ



(注釈) 輸送モードごとのCO₂排出量は車種・線区・運用条件等で異なり、上記は特定の数値を正確に表したものではありません。鉄道の数値は当社の線区をもとに試算、バス、乗用車の数値は国土交通省自動車燃費一覧(令和4年3月版)の代表的数値から概数として引用。

地域公共交通活性化再生法について

地域公共交通に関する計画や様々な事業に関する措置について定め、地域旅客運送サービスの確保に資するよう、地域公共交通の活性化及び再生のための地域の主体的な取組等を推進する法律。

地域公共交通計画

- ・「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする、**地域公共交通のマスタープラン**。原則として、**全ての地方公共団体において作成が必要**。
- ・自治体や地域の交通事業者、利用者等により構成される協議会等を通じて作成。

地域公共交通特定事業

- **軌道運送高度化事業**
：LRT（Light Rail Transit）の整備
- **鉄道事業再構築事業**
：鉄道の上下分離等
- **地域公共交通利便増進事業**
：路線、ダイヤ、運賃等の見直しによるサービス改善
- **道路運送高度化事業**
：BRT（Bus Rapid Transit）の整備
- **地域旅客運送サービス継続事業**
：公募を通じた廃止予定路線の交通の維持
- **貨客運送効率化事業**
：貨客混載の導入



※地方公共団体又は事業者が、事業実施計画を作成。国土交通大臣が認定した場合、事業許可のみなし特例等の特例措置を講じる。

地域公共交通計画について

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（令和2年11月改正）に基づき、地方公共団体が作成する「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープラン。
- 地方公共団体は、地域公共交通計画を作成するよう努めなければならない。

計画のポイント

- ◆ **まちづくり・観光振興等の地域戦略との一体性の確保**
 - ・コンパクトシティ等のまちづくり施策との一体的推進
 - ・観光客の移動手段の確保等、観光振興施策との連携
- ◆ **地域全体を見渡した地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保**
 - ・公共交通をネットワークとして捉え、幹線・支線の役割分担の明確化
 - ・ダイヤや運賃等のサービス面の改善による利用者の利便性向上
- ◆ **地域特性に応じた多様な交通サービスの組合せ**
 - ・従来の公共交通サービスに加え、地域の多様な輸送資源（自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス等）を最大限活用
 - ・MaaSの導入等、新たな技術を活用した利用者の利便性向上
- ◆ **住民の協力を含む関係者の連携**
 - ・法定協議会を設置し、住民や交通事業者等の地域の関係者と協議
 - ⇒ 地域の移動ニーズに合わせて、地域が自らデザインする交通へ



- ◆ 利用者数、収支、行政負担額などの定量的な目標の設定と毎年度の評価・分析等の努力義務化 ⇒ データに基づくPDCAを強化

地域旅客運送サービス

公共交通機関



鉄軌道



路線バス



旅客船



コミュニティバス



デマンド交通



乗用タクシー



自家用有償旅客運送



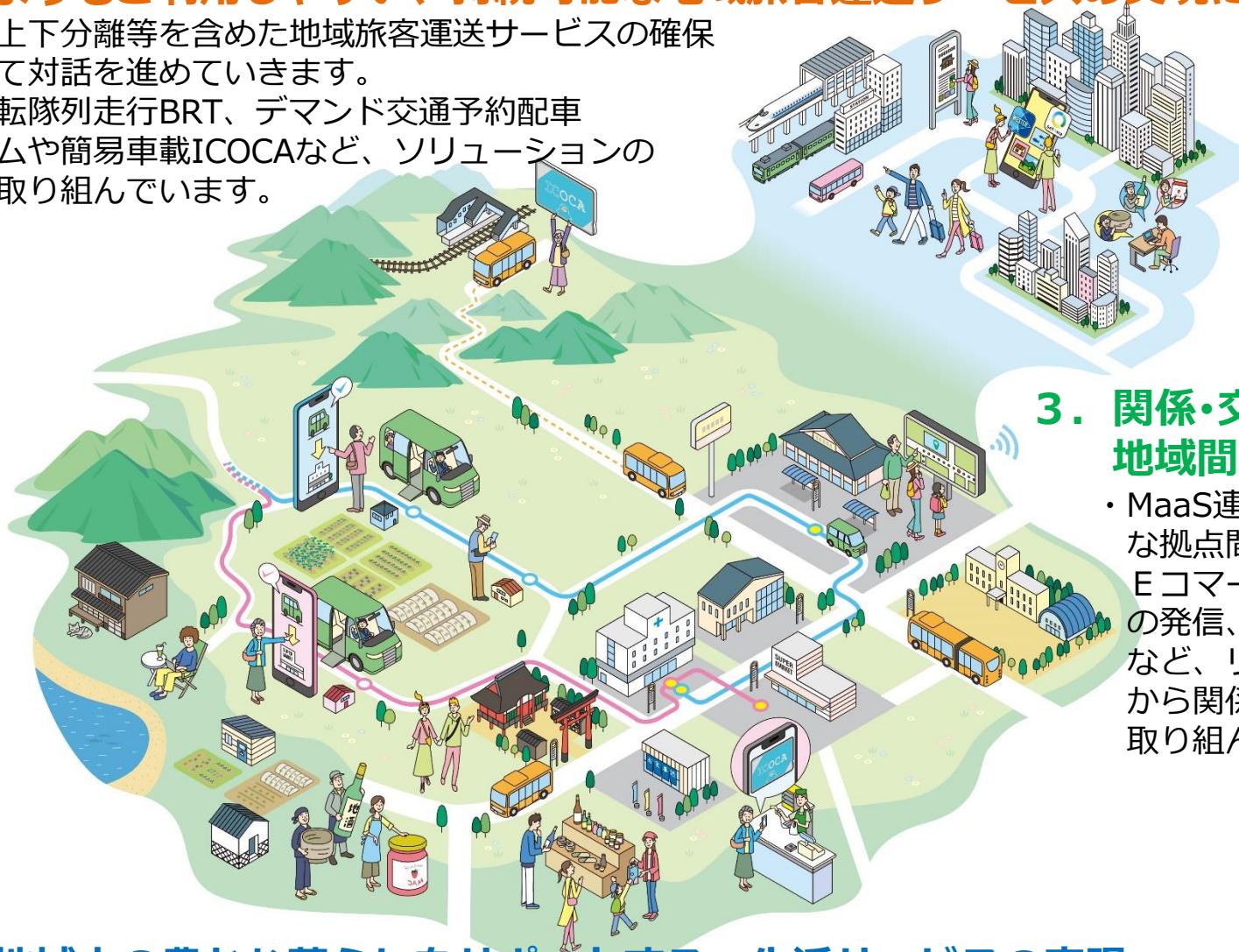
福祉輸送、スクールバス、
病院・商業施設等の送迎サービスなど

鉄道だけでなく、様々な場面で地域の活性化に貢献

地域課題の解決に地域の皆様と取り組み、地域共生企業を目指すJR西日本グループとして、持続可能な地域社会の実現や地域の活性化に引き続き貢献していきます。

1. 今よりもご利用しやすい、持続可能な地域旅客運送サービスの実現に貢献

- ・鉄道の上下分離等を含めた地域旅客運送サービスの確保に向けて対話を進めていきます。
- ・自動運転隊列走行BRT、デマンド交通予約配車システムや簡易車載ICOCAなど、ソリューションの開発に取り組んでいます。



3. 関係・交流人口が拡大する、地域間のつながりづくり

- ・MaaS連携によるシームレスな拠点間輸送、各種観光振興、Eコマース等による地域商品の発信、多拠点居住サービスなど、リアル・デジタル両面から関係・交流人口の拡大に取り組んでいます。

2. 地域内の豊かな暮らしをサポートする、生活サービスの実現

- ・ICOCAと連携した地域ポイントの展開など、地域内消費活性化に取り組んでいます。